

令和6年度 山形県病院事業会計決算の概要【経常収支は6億300万円の赤字】

令和7年7月
病院事業局

1 病院事業合計

(1) 入院及び外来の概況

(単位:百万円)

		令和6年度	
		増減	増減率
入院収益	a	22,000	▲41 0.2%
入院患者延数	b	353,836人	8,472人 2.5%
入院診療単価	a/b	62,176円	▲1,407円 ▲2.2%
平均在院日数		14.8日	0.2日増加
病床利用率		82.0%	4.7%上昇
外来収益	c	9,570	▲25 ▲0.3%
外来患者延数	d	513,027人	4,901人 1.0%
外来診療単価	c/d	18,654円	▲229円 ▲1.2%

(2) 損益の概況

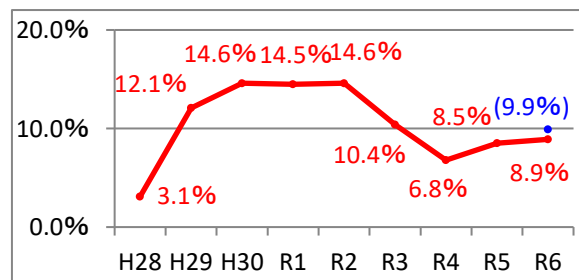
(単位:百万円)

		令和6年度	
		増減	増減率
総収益	A	44,720	2,134 5.0%
経常収益	B	44,640	2,595 6.2%
医業収益	C	32,312	21 0.1%
医業外収益		12,328	2,574 26.4%
特別利益		80	▲461 ▲85.2%
総費用	D	45,576	1,865 4.3%
経常費用	E	45,243	2,912 6.9%
医業費用	F	42,999	2,735 6.8%
(うち給与費)		(23,409)	(1,748) (8.1%)
(うち材料費)		(9,447)	(▲171) (▲1.8%)
(うち経費)		(7,040)	(510) (7.8%)
(うち減価償却費)		(2,617)	(501) (23.7%)
医業外費用		2,244	177 8.6%
特別損失		333	▲1,047 ▲75.9%
医業収支	C-F	▲10,687	▲2,714 —
総収支	A-D	▲856	269 —
経常収支	B-E	▲603	▲317 —

(参考) 資金不足比率の推移

病院事業会計は、平成28年度から資金不足が生じ、平成29年度には資金不足比率が10%を超えたため、「資金不足等解消計画」を策定し、経営改善に取り組んでいる。

令和6年度の地方財政法による資金不足比率は、計画値9.9%に対し8.9%となった。



2 中央病院【経常収支は3億5,800万円の赤字】

(1) 概要 (R6.4.1)

山形県の高度・専門医療の拠点
○診療科:34科
○稼働病床数:563床



(2) 入院及び外来の概況

(単位:百万円)

		令和6年度	
		増減	増減率
入院収益	a	13,959	▲490 ▲3.4%
入院患者延数	b	157,529人	▲1,658人 ▲1.0%
入院診療単価	a/b	88,612円	▲2,157円 ▲2.4%
平均在院日数		10.1日	0.3日短縮
病床利用率		78.8%	2.6%上昇
外来収益	c	5,751	▲97 ▲1.7%
外来患者延数	d	238,732人	▲2,405人 ▲1.0%
外来診療単価	c/d	24,087円	▲166円 ▲0.7%

(3) 主な設備投資 (単位:百万円)

- 無停電電源装置等更新工事 (R5～7債務負担) (124)
- 空調冷却塔更新工事 (R5～6債務負担) (107)
- 医療機器等の整備 (617)
 - ・注射薬払出装置 (120)
 - ・放射線治療計画装置 (99)
 - ・心臓カテーテル用検査装置 (54) 等

(4) 経常収支の概況

(単位:百万円)

		令和6年度	
		増減	増減率
医業収益	A	20,160	▲596 ▲2.9%
医業外収益	B	5,384	427 8.6%
医業費用	C	24,604	900 3.8%
医業外費用	D	1,298	2 0.2%
医業収支	A-C	▲4,444	▲1,496 —
経常収支(A+B)-(C+D)		▲358	▲1,071 —

《主な増減要因》

- 医業収益 [▲596]
 - ・患者延数及び診療単価の減による入院及び外来収益の減 [入院: ▲490、外来: ▲97]
- 医業外収益 [+427]
 - ・一般会計繰入金の増 [+1,223]
 - ・新型コロナ補助金の減 [▲658]
- 医業費用 [+900]
 - ・給与改定及び定年退職者の増等による給与費の増 [+1,076]
 - ・委託料の労務単価の上昇等による経費の増 [+284]

4 河北病院【経常収支は8,400万円の赤字】

(1) 概要 (R6.4.1)

西村山地域の医療を支える中核病院
○診療科:17科
○稼働病床数:116床



(2) 入院及び外来の概況

(単位:百万円)

		令和6年度	
		増減	増減率
入院収益	a	1,349	161 13.6%
入院患者延数	b	28,394人	1,651人 6.2%
入院診療単価	a/b	47,508円	3,073円 6.9%
平均在院日数		15.2日	前年度と同じ
病床利用率		70.7%	4.3%上昇
外来収益	c	847	▲16 ▲1.9%
外来患者延数	d	67,928人	668人 1.0%
外来診療単価	c/d	12,469円	▲355円 ▲2.8%

(3) 主な設備投資 (単位:百万円)

- 中央監視装置更新工事 (87)
- 医療機器等の整備 (265)
 - ・全身用X線CT診断装置 (204)
 - ・緑内障患者の視野を検査する自動視野計 (10) 等

(4) 経常収支の概況

(単位:百万円)

		令和6年度	
		増減	増減率
医業収益	A	2,239	147 7.0%
医業外収益	B	1,792	408 29.5%
医業費用	C	3,972	194 5.1%
医業外費用	D	143	12 9.2%
医業収支	A-C	▲1,733	▲47 —
経常収支(A+B)-(C+D)		▲84	349 —

《主な増減要因》

- 医業収益 [+147]
 - ・患者延数及び診療単価の増による入院収益の増 [+161]
- 医業外収益 [+408]
 - ・一般会計繰入金の増 [+572]
 - ・新型コロナ補助金の減 [▲97]
- 医業費用 [+194]
 - ・給与改定及び定年退職者の増等による給与費の増 [+212]

3 新庄病院【経常収支は4億3,600万円の黒字】

(1) 概要 (R6.4.1)

最上地域唯一の基幹病院
○診療科:28科
○稼働病床数:315床



(2) 入院及び外来の概況

(単位:百万円)

		令和6年度	
		増減	増減率
入院収益	a	5,002	347 7.5%
入院患者延数	b	99,652人	8,457人 9.3%
入院診療単価	a/b	50,191円	▲855円 ▲1.7%
平均在院日数		15.7日	1.5日増加
病床利用率		87.8%	11.4%上昇
外来収益	c	2,678	86 3.3%
外来患者延数	d	171,751人	5,803人 3.5%
外来診療単価	c/d	15,595円	▲27円 ▲0.2%

(3) 主な設備投資 (単位:百万円)

- 医療機器等の整備 (81)
 - ・耳鼻咽喉科手術のナビゲーションシステム (13)
 - ・眼底の網膜の状態を撮影する眼底カメラ (10)
 - ・過酸化水素低温プラズマ滅菌器 (10) 等

(4) 経常収支の概況

(単位:百万円)

		令和6年度	
		増減	増減率
医業収益	A	7,915	445 6.0%
医業外収益	B	4,110	1,732 72.8%
医業費用	C	10,913	1,550 16.6%
医業外費用	D	676	161 31.3%
医業収支	A-C	▲2,998	▲1,105 —
経常収支(A+B)-(C+D)		436	466 —

《主な増減要因》

- 医業収益 [+445]
 - ・患者延数の増による入院及び外来収益の増 [入院: +347、外来: +86]
- 医業外収益 [+1,732]
 - ・一般会計繰入金の増 [+1,210]
 - ・減価償却に伴う長期前受金戻入の増 [+635]
 - ・新型コロナ補助金の減 [▲201]
- 医業費用 [+1,550]
 - ・建物等の減価償却費の増 [+892]
 - ・給与改定及び定年退職者の増等による給与費の増 [+374]
 - ・建物の保守等に係る経費の増 [+110]

5 こころの医療センター【経常収支は2億7,600万円の赤字】

(1) 概要 (R6.4.1)

本県の精神科医療の基幹病院
○診療科:3科
○稼働病床数:213床



(2) 入院及び外来の概況

(単位:百万円)

		令和6年度	
		増減	増減率
入院収益	a	1,690	23 1.4%
入院患者延数	b	68,261人	22人 0.0%
入院診療単価	a/b	24,765円	344円 1.4%
平均在院日数		139.7日	2.8日増加
病床利用率		87.8%	0.3%上昇
外来収益	c	294	2 0.7%
外来患者延数	d	34,616人	835人 2.5%
外来診療単価	c/d	8,504円	▲138円 ▲1.6%

(3) 主な設備投資 (単位:百万円)

- 医療機器等の整備 (44)
 - ・全自動錠剤分包機 (17) 等

(4) 経常収支の概況

(単位:百万円)

		令和6年度	
		増減	増減率
医業収益	A	1,998	25 1.3%
医業外収益	B	1,025	12 1.2%
医業費用	C	3,185	98 3.2%
医業外費用	D	114	▲2 ▲1.7%
医業収支	A-C	▲1,187	▲73 —
経常収支(A+B)-(C+D)		▲276	▲59 —

《主な増減要因》

- 医業収益 [+25]
 - ・患者延数及び入院診療単価の増による入院及び外来収益の増 [入院: +23、外来: +2]
- 医業外収益 [+12]
 - ・一般会計繰入金の増 [+19]
 - ・新型コロナ補助金の減 [▲16]
- 医業費用 [+98]
 - ・給与改定等による給与費の増 [+115]

※ 表中の「増減」及び「増減率」は対前年度。また、「医業収支」「経常収支」及び「総収支」の「増減率」は当年度及び前年度のいずれもが正数の時のみ記載。